

第15回ITER理事会の開催結果について



平成27年1月19日
文部科学省



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,

CULTURE, SPORTS,

SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

第15回ITER理事会の日程等

日程： 2014年11月19日(水)－20日(木)

場所： ITER機構本部(フランス、サン・ポール・レ・デュランス市)

議長： アイオッティ CH2M-WG HILL 原子カビジネスグループ社 元会長

出席者：

日本： 土屋 文部科学審議官 他

欧州： スミッツ 欧州委員会研究・イノベーション総局長 他

米国： ノーテク エネルギー省科学・エネルギー担当副次官 他

ロシア： ボロフコフ ロシア連邦政府国防産業委員会委員長 他

中国： 曹(ツァオ) 科学技術部副部長 他

韓国： 李(イ) 未来創造科学部研究開発政策局長 他

インド： グローバー ホミ・バーバ国立研究所長 他

ITER機構： 本島 機構長 他



第15回ITER理事会の主な議題

(1) 開会挨拶

(議長、各極代表、機構長)

(2) ITER機構、諮問委員会等からの活動報告

(3) ITER計画の進捗状況

(4) 機構長人事

(5) その他



第15回ITER理事会の結果概要(1)

ITER機構からの活動報告

- 2014年9月末現在、全職員数545名。〈うち専門職員337名、支援職員208名〉
- トカマク建屋基礎部(B2スラブ)の鉄筋補強が完了し、仏原子力規制当局(ASN)による許可の下、コンクリート打設を実施、成功裏に完了した(2014年8月)。現在、建屋壁、及び上層階の作業を実施中。また、組立建屋の建設が開始された。
- 主要機器のサイトへの到着に向けて、保管倉庫の建設、アクセス道路の整備を実施中。

ITER建設サイト

ポロイダル磁場
コイル巻線建屋

トカマク建屋基礎部(B2スラブ)

ITER機構本部建屋

トカマク建屋
建設現場



第15回ITER理事会の結果概要(2)

ITER計画の進捗状況

- ITER機構及び各極から、前回昨年6月の理事会以後の各機器の遅延状況及びその是正策が報告された。遅延の大きい機器(トカマク建屋や真空容器等)を優先し、遅延拡大を止めるためにITER機構及び参加極が協働して取り組むこととなった。
- これらの遅延状況を踏まえた上で、長期スケジュール策定作業の進捗が報告された。その結果、技術的に可能で信頼できるスケジュールとするため、引き続きITER機構及び各極実施機関がスケジュールの統合作業を進めることとなった。

機構長人事

- 今年7月末で任期満了となる本島機構長の後任として、ベルナール・ビゴ博士(現・仏原子力・代替エネルギー庁(CEA)長官)を次期機構長に指名。
- ビゴ機構長候補者のコメント:「新しい段階に入るITER計画を率いる大きな責任を感じている。ITER理事会が私を信頼してくれることは非常に光栄であり、理事会、そしてITERに携わるすべての人々の期待に応えるよう最大限努力する。」

第15回ITER理事会の結果概要(3)

その他

- 2015年6月19日－20日に第16回ITER理事会をITER機構本部で開催することを決定。
- 2015年のITER理事会議長としてアイオッティ氏を承認(2014年からの再任)。



<ITER理事会メンバー>



<日本代表団>